

太宰府中学校 | 学年だより

R5.4.13

文責：1学年主任

あなたが見る「新しい景色」は・・・

～太宰府中学校での生活が始まりました～



昨日の入学式はどうでしたか？真新しい制服に身を包んだ皆さんの心は緊張と期待とで一杯だったことでしょう。朝の短い時間の中での指示にもかかわらず、よく理解して式にのぞんだ姿は大変立派でした。

さて、皆さんは昨日めでたく太宰府中学校に入学しました。

これからは、小学校とは違った「新しい景色」を見て、いろいろなことを経験します。

あなたにとっての中学校3年間は、どのような「景色」が見えるのでしょうか。

右は、3月に卒業した生徒の作文です。「中学校生活を振り返って、楽しかったことや思い出に残ったこと、後輩に伝えたいこと」を書いてもらいました。皆さん、読んでみてください。

どうでしたか。彼女の作文から、次のことが伺えます。

- ・中学校生活は、想像以上の楽しさがあった、自分を成長させてくれた。
- ・責任ある仕事をやった経験が、私自身の力になった。
- ・学んだことや教わったこと、様々な思い出を宝にして、高校生活に活かしたい。
- ・中学校生活が不安でしょうが、全力で楽しんで、心に残る思い出をつかってほしい。

彼女は、長年の夢であった「美容師」になるために、美容コースが併設されている高校に進学しました。進学がきまったあとも、学校の授業に一層熱心に取り組みながら、入試を控えた友達を励ましたり、先生たちの仕事を手伝ったりと、皆のために献身的に働き、立派な姿で卒業しました。

先生たちも、皆さんがたくさんの経験を経て、それぞれの良さと持ち味を伸ばして成長してほしいと願っています。

3年間の中学校生活で皆さんが経験することは、すべて「楽しいことばかり」ではありません。

時には、思うようにいかないことやきついこともあります。それも、皆さんを成長させる糧（かて：「成長するための自分の力になる」「生きていくための力になる」という意味）です。

今日から3年間、出会った仲間と先生で力をあわせて、すてきな中学校生活を送りましょう。